

防災まちづくりの目標と方針

学区の全世帯を対象に実施した防災まちづくりアンケートをはじめ、自主防災部長による防災まちあるきやワークショップ、総合防災訓練参加者の声などをふまえ、まちづくりの目標と方針を定めました。具体的な取り組みについては、次ページ以降に示しています。

“

こんなご意見がありました

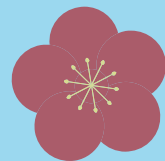
木造の建物が多いので、地震火災の不安があります。／玄関先に消火バケツを置く習慣を守っていきたい。／町内の消火器があちこちにあって安心。定期的に点検が必要です。／梅屋広場に防災用のポンプができて心強い。



“

こんなご意見がありました

細い路地が多く、ブロック塀の倒壊などで避難路がふさがれてしまわないか気になります。／実際に地震に直面した時、冷静に避難できるかどうか心配です。／行き止まりの路地が多いので、道がふさがれると逃げ場がないのが不安です。



住みよい梅屋

まちの良さを残しながら、延焼を抑え、
避難や救助がしやすい環境づくり

“

こんなご意見がありました

毎年実施される総合防災訓練では、学ぶことも多く、意識を高める良い機会です。／感染症が流行している時に災害が起こった場合の避難対策を早急に考える必要があります。／もしものとき、持ち物は何かを必要かを改めて考えておきたいと思います。



“

こんなご意見がありました

お向かいとお隣が同じ町内であり、門掃きをするときにも挨拶を交わす伝統ある学区です。／向う三軒両隣の隣組の助け合いが生きている京の風情があります。／人と人とのつながりが強く、新しく転入してくる人をあたたかく迎えてくださる学区だと思います。／古くから居住されている方も多く、安心と信頼がある。そのため団結力も強いと思います。



“

こんなご意見がありました

ご近所の方が、日頃から色々とお心配して助けてくださいます。／「梅屋社協だより」のおかげで明るい刺激をいただいています。／マンションが増えてきて交流があまり進まず、コミュニケーション不足になっていると思います。

